



市議会令和3年12月定例会が、令和3年12月6日から24日までの19日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、表原市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

公約の進捗状況

私は、ふるさと阿南の可能性を大きく引き出し、市民の皆さまと共に新時代の阿南を切り拓きたいと決意し、「みんなで創るマチ」の実現に向け、市長就任以来、さまざまな課題に取り組んでまいりました。また、令和2年度に、市政運営の羅針盤となる「阿南市総合計画（咲かせよう夢・未来計画2028）」を各層の皆さまとの協働により策定しました。そこで、私の公約に關しての進捗状況を、総合計画に掲げた基本施策の取組と合わせて、申し述べます。

まず、基本政策の1点目の「みんなが健康で自立した生活ができるまちづくり」の実現では、子ども・子育て支援として令和2年10月から2歳児の保育料無償化、さらに令和3年10月から1歳児の保育料無償化をはじめ、子育て環境の整備を進めています。また、高齢者福祉として買い物支援・移動支援サービスを加茂谷地区で公民一体の取組として、モデル事業を実施し、通院、買い物等に多くの利用があり好評を得ています。

き、実際の使用状況についてモニタリングおよびヒアリングを行い、当該公共施設における公民連携の有用性を確認します。

トライアル・サウンディング終了後は、調査結果を踏まえ、必要に応じ活用方針等を見直し、可能なものについては、民間事業者等による本格利用を開始し、新たな財源確保に努めるとともに、民間事業者等の豊かなアイデアで公共の空間が魅力あるものに生まれ変わることをめざします。

阿南駅周辺整備構想の策定

阿南駅周辺の公共用地・公共施設の有効活用を図り、駅前への「人の集積と賑わいの創出」をめざす阿南駅周辺整備構想の策定では、令和3年10月15日、第2回目の「阿南駅周辺まちづくりビジョン検討会議」を開催しました。

この検討会議では、前回の検討会議でいただいたご意見を踏まえ、駅周辺エリアの価値を高めていく戦略イメージや、市民会館解体後の跡地を中心とする公共空間における導入機能、配置（案）について、市側より議論のたたき台となる複数の案をご提示させていただきました。

委員の皆さまからは、若者、ファミリー層をターゲットにしたまちづくりや教育機能の充実をはじめ、未来の社会に対応できるリニュー

2点目の「安全で安心な暮らしを実感できるまちづくり」の実現では、阿南市防災会議内水被害対策専門委員会を設置し、庁内外の関係機関がしっかりと連携し、有事の際に迅速に対応できる体制を整え、ハード、ソフト両面による施策の展開により、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりを進めています。

3点目の「豊かな心と生きる力を育むまちづくり」の実現では、安全で安心して学べる教育環境の整備を計画的に進めていくこととし、現在、羽ノ浦中学校体育館と羽ノ浦総合国民体育館の複合化による新たな体育館の建設工事に着手しています。

4点目の「市民と共に創る持続可能なまちづくり」の実現では、厳しい財政状況下で多様化、複雑化する市民ニーズに対応すべく、まちづくりの新たな担い手との連携を深化させる手段として、これまでの出前市長に加え、公民連携のさまざまな取組にもチャレンジします。

折り返し以降の2年間は、行財政改革を着実に進め、変化に対応し得る安定した財政基盤の確立に向け取り組みます。

阿南市の未来を創っていくためには、政策

アルを視野に入れた拠点整備の必要性など、多様なご意見をいただきました。

また併せて、令和3年11月下旬には、当該事業への参入意欲の把握や民間活力導入に当たつての条件等の整理を行う目的で、公的不動産の有効活用や公民連携事業の実績を有する事業者に対して個別対話によるサウンディング型市場調査を行いました。

今後は、検討会議でのご意見や調査の結果を踏まえ、ビジョン案の修正を行うとともに、事業実現に向けた方策について検討を深め、1月に予定している第3回検討会議でのご意見や、パブリックコメントによる市民の皆さまからのご意見を踏まえ、また、議会でのご議論もいただきながら、本年度中のビジョンの策定に向け、取組を進めます。

とくしま森林バンクの設立

森林経営管理法に基づく、新たな森林管理システムの実施に当たり、本市は、県南部地域4町と共にとくしま南部地域森林管理システム推進協議会を設立し、徳島森林づくり推進機構を窓口として、森林所有者の意向調査をはじめ森林整備事業や森林境界明確化事業に取り組んでいます。

令和元年度から実施している意向調査では、売買や寄附により森林を手放したい、あるいは、森林管理の市への委託を希望する森林所有者

を市民の皆さまと共有し、まちの未来を自分ごと引き寄せることが肝心ですので、これまで以上に対話を大切にしながら、さまざまな行政課題に果敢に挑戦します。

トライアル・サウンディング事業の導入

阿南市行財政集中改革プランに掲げた公共施設マネジメントの実施において、トライアル・サウンディング事業を導入します。この事業は、市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者等を募集し、公共施設を一定期間、実際に使用していただきながら、施設の活用方法等について、さまざまなアイデアや意見等を把握する制度です。

本市においては、まず、市の公共施設のうち、現在は使用していない施設や空きスペース等、活用可能な施設を選定し、民間事業者等および有識者の方と現地を視察し、意見交換を行い、公共施設の活用方針等を決定します。

次に、活用方針等に基づき公募を行い、公共施設を民間事業者等に試験的に使用いた

が多く、将来的に大きな社会問題として懸念される放置林の増加を防ぐ新たな取組が求められています。

一方で、温室効果ガスの削減に向けて、適正に管理された森林は、地球温暖化を防止する上で大きな役割が期待されています。

徳島県および本市をはじめとする県南地域5市町では、こうした状況について、共通認識と危機意識を持ち、連携して所有者の管理が行き届かない森林を集約して整備し、購入希望者とのマッチングを行う組織体として、また、温室効果ガス削減・吸収量分を売買できる国のJ-クレジット制度の認証団体となる新たな組織として、令和3年9月28日、一般社団法人とくしま森林バンクを設立しました。

ゼロカーボンシティを県下でいち早く宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロをめざす本市は、法人組織の一員として県ならびに関係町との緊密な連携のもと積極的な役割を果たし、放置林の発生防止はもとより地球温暖化防止につながる適正な森林管理に前向きに取り組めます。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。